

比治山大学国際化ビジョン

I. 比治山大学国際化ビジョン策定の目的

「建学の精神・理念」と「教育目標」達成のために

比治山大学の建学の精神・理念は、「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」です。人間の生命の尊厳性と永遠性を基底とし、現在を生きる私たち人間の生命は、久遠の過去から連綿と現在に至っていることに感謝し、これを未来永劫に向上発展させるべく、現在を精一杯生きるように精進する人間を育てたいという願いを表しています。建学の精神・理念を踏まえ、伝統を重んじながらも激動する現代社会を正確に把握する力と、急速な変化の中で起こりうる予測不可能な問題に対処する力を持ち、地域に貢献できる人材を育成することが比治山大学の教育目標です。急速にグローバル化する現代社会において、建学の精神・理念と教育目標を達成するために、グローバル時代に対応できる人材育成をめざし、比治山大学は比治山大学国際化ビジョンを策定しています。

II. 比治山大学国際化ビジョンの理念

1. 世界に開かれた大学になる
2. グローバル時代に対応した地域貢献のできる大学になる

世界に開かれた大学とは、教育・研究において、大学キャンパス内外で海外との人的交流が活発な大学を意味します。そこでは、多様な文化背景や価値観を持つ人々が、互いを尊重し共生可能な文化が醸成されることとなります。こうした大学の姿は、本学建学の祖・国信玉三が、その著書『柔軟心』で述べている、「自他相対の差別を超えて、平等一如の絶対の境地に遊ぶ」という人間のあり方に呼応するものであり、グローバル時代における比治山大学がめざすべき姿であると言えます。

地域への貢献は、比治山大学が掲げている重要な教育目標です。グローバル時代において、地域はますますグローバル人材を必要としています。地域の求める人材を育成することは地域への直接的な貢献であり、本学の果たすべき使命であると比治山大学は考えています。

III. 比治山大学国際化ビジョンの理念を実現するための具体的方針

「世界に開かれた大学」「グローバル時代に対応した地域貢献のできる大学」になるために

1. 学生の海外留学を促進する。

比治山大学の全学生を対象とする海外留学プログラム、及び、学科の教育方針に沿った専門的内容の海外研修プログラムを、それぞれ開発・提供していきます。コストや実施時期・期間など、学生が参加しやすくなる工夫をし、海外研修参加学生数は全学生の5%をめざします。

2. 外国語教育を充実する

確実に外国語運用能力が定着するように、外国語教育の質的充実をはかります。共通教育必修の英語は、教材や授業スタイルを改善した上で、習熟度別クラス編成を維持し、基礎力養成のためのクラスを特に少人数（20名）とします。英検、TOEIC、TOEFLなどの各種英語能力試験にも対応できるような工夫も行います。選択科目の中国語とハンガリー語についても、海外語学研修と関連づけるなどの工夫をして、実践的な外国語運用能力が確実に養成できるようにします。

3. 学内の国際化をはかる

多くの優れた留学生を受け入れる工夫をし、外国人留学生の割合 2%をめざします。海外協定大学からの交換留学生に対し、本学の特徴ある教育内容を短期集中的に学修するプログラムを提供し、協定大学以外の留学生も積極的に受け入れます。正規留学生受け入れ上の工夫としては、特別入試（国内外の日本語学校との連携を含む）、シェアハウス型宿舎の整備、授業料政策を検討します。

また、留学生と比治山大学の学生が日常的に交流できる学生間国際交流の拠点を学内に整備します。教職員・学生・地域が留学生を支援する体制を充実させて、留学生との交流を促進し、学内の国際化をはかります。

4. 教職員の国際化を支援する

海外大学との、教育・研究分野での教職員の交流を活性化します。FD・SD活動の一環として、海外語学研修プログラムに教職員が参加できるようにし、教職員の語学力養成と異文化理解を促進します。

5. 地域のグローバル化対応に貢献する

地元のインターナショナルスクールとの連携を促進するとともに、大学祭、公開講座などの機会に、地域のグローバル化対応を支援します。さらに留学生のためのホームビジットや地域行事への参加などを通じて地域の人々との交流を促進します。

6. グローバル化時代にふさわしい就業力を育成する。

新たな問題や課題を発見して解決を模索する力、未知の世界に挑戦する力を養う海外留学プログラム（海外インターンシップを含む）を開発・提供することで、学生にグローバル化時代にふさわしい就業力が身につくように工夫します。また、留学生に対しても、グローバル人材としての就業力を養う支援を行います。

(国際交流委員会)